

地球惑星科学委員会 IUGG 分科会 IAVCEI 小委員会(第 24 期・第 3 回)
議事録

1. 日時 令和元年 5 月 27 日 (月) 17:30~18:30
2. 会場 幕張メッセ 国際会議場 1 階 105
3. 出席者： 中田節也 (防災科研)・井口正人 (京大防災研)・市原美恵 (東大地震研)・上田英樹 (防災科研)・篠原宏志 (産総研)・清水 洋 (九大大学院)・中川光弘 (北大大学院)・西村太志 (東北大大学院)・森田裕一 (東大地震研)
4. 欠席者：山岡耕春 (名大大学院)

5. 配布資料

資料 1：地球惑星科学委員会 IUGG 分科会 IAVCEI 小委員会(第 24 期・第 2 回)議事録

資料 2：地球惑星科学委員会 IUGG 分科会 (第 24 期・第 3 回) 議事録

資料 3：JpGU2019 [U-06] 「100 周年を迎える IUGG への日本の貢献」 プログラム

資料 4：IAVCEI 役員選挙結果

資料 5：次世代火山研究推進事業

資料 6：アジア火山コンソーシアム

資料 7：今後の会議予定

6. 議事概要

(1) 地球惑星科学委員会 IUGG 分科会の報告

・中田委員長より、2018 年 11 月 28 日に開催された地球惑星科学委員会 IUGG 分科会 (第 24 期・第 3 回) の報告がなされた。JpGU で IUGG のユニオンセッションを開催することを提案し、採択されたとの報告があった。

(2) JpGU2019 ユニオンセッション「100 周年を迎える IUGG への日本の貢献」について

・中田委員長より、JpGU2019 ユニオンセッション「100 周年を迎える IUGG への日本の貢献」において発表する内容の説明があった。

(4) IAVCEI 役員選挙の結果及び各賞候補者について

・中田委員長より、IAVCEI 役員選挙の結果について説明があった。井口委員が IAVCEI の副会長、防災科研の藤田氏が執行委員として当選したとの説明があった。

・Wager メダル候補に東北大学の奥村聡氏が推薦され、選考作業中との報告があった。

(6) 次世代火山研究・人材育成総合プロジェクトの動向

・清水委員より、本年度「次世代火山研究・人材育成総合プロジェクト」の中間評価が 7 月に行われるとの説明があった。

・西村委員より、人材育成コンソーシアムから台湾で開かれる ACV キャンプに参加すること、

南洋理工大学で開かれるワークショップに参加するとの報告があった。また、ユネスコチェアに東北大学災害科学国際研究所から火山防災も含めたテーマで申請したとの報告があった。

(7) アジア火山コンソーシアムの動向

- ・井口委員より、2018 年 11 月にインドネシアで開催されたアジア火山コンソーシアム第 3 回フィールドキャンプの活動報告、2019 年 10 月に台湾で開催予定の第 4 回フィールドキャンプについて説明があった。第 4 回の開催費用は台湾側が用意するが、日本人の参加費用は日本側が用意する必要があるとの説明があった。

(8) その他の活動報告

- ・市原委員より、SATREPS プロジェクト「コロンビアにおける地震・津波・火山災害の軽減技術に関する研究開発」（2015-2019 年）が今年度で終了するとの説明があった。

- ・IODP 関係の国際共同研究の情報も本委員会で把握した方が良いという意見が出され、産総研石塚治氏に、取りえずオブザーバーとして、本委員会に参加してもらえるかどうかを委員長が打診することとした。

(9) 今後の会議予定

- ・中田委員長より、今後のスケジュールについて説明があった。第 4 回 IAVCEI 小委員会は、9 月に神戸大学で開催される日本火山学会秋季大会会期中に開催することになった。

- ・篠原委員より、2020 年 6 月に火山ガスワークショップ（CCVG）が開催されるとの説明があった。

- ・井口委員より、2022 年開催予定の Cities on Volcanoes 12 の開催地として鹿児島市が年内に立候補する予定であり、ついでには火山学会の協力が必要になるとの説明があった。IAVCEI 小委員会としてこの立候補をサポートすることを決定した。